

様式 1 1

指定管理者の評価に係る合議の概要

施設名	箕面市立萱野中央人権文化センター
指定管理者名	特定非営利活動法人 暮らしづくりネットワーク北芝
開催日	令和5年（2023年）9月13日（水）
開催場所	萱野中央人権文化センター 3階視聴覚室
合議の出席者	大阪大学大学院 人間科学研究科 教授 高田 一宏 氏 箕面市人権協会北芝地域協議会 内山 三重子 氏 箕面市立萱野小学校教諭 神崎 佑一 氏 箕面市立第二中学校教諭 鈴木 孝浩 氏 箕面市人権啓発推進協議会会長 笹川 実千代 氏 認定NPO法人コクレオの森 佐野 純 氏 市民委員 西本 万希子 氏

【概要】別添のとおり

内容

令和5年9月13日（水）に箕面市立萱野中央人権文化センターにて、指定管理者にかかる合議を実施いたしました。その中で合議メンバーより次のような意見がありました。

1. 合議メンバーの意見

（1）施設のハード面について

利用者アンケートによると、駐車スペース、Wi-Fi環境についてのご意見が多い。老朽化による修繕等についても、市と指定管理者が協議した上で、適切に対応してほしい。

（2）事業面について

指定管理期間が終盤に近づいているが、この間に社会情勢が変わり、こども家庭庁ができたり、居場所づくりが重要になってきている。新たな小グループの利用も増えているようなので、市民の活動傾向を見ながら、ニーズに合わせる形で運営してほしい。

女性の居場所事業は、若年女性への支援が少ない現状なので、利用者がどう感じているかを大事にしながら進めてもらいたい。市の関係窓口とも連携しながらいろんな所にアンテナを張ってほしい。

講座・イベントについては、コロナ禍の中でさまざまなやり方があると分かったので、市民からの持ち込み企画を含めて、今後も充実を図ってほしい。複合施設なので、市直営部分と合わせて、相乗効果をつくることができる。

（3）情報発信について

らいとぴあを知らない住民に向けて、例えば、セミナーを広く配信したり、キューズモールの案内に事業掲載してもらえるとよい。これから新しい住民も増えるので、広く情報発信ができるよう検討してほしい。

2. 総評

全体的には適切な施設管理運営を行っているのと、市として評価いたします。今後も、引き続き利用者の意見を幅広く聞き、効果的な事業実施に反映させ、さらなる充実を期待します。